

DENON[®]

DHT-S517

Dolby Atmos Sound Bar & Wireless Subwoofer

取扱説明書



マニュアルについて	4
本書の記載について	4
付属品	5
リモコンを使用する前に	6
リモコンの使いかた	8
各部の名前	9
サウンドバー	9
サブウーハー	13
リモコン	14

接続のしかた

設置する	16
サウンドバーをテレビの前に設置する	16
サウンドバーを壁掛けする	17
サブウーハーを設置する	19
テレビを接続する	20
eARC(Enhanced Audio Return Channel)またはARC(Audio Return Channel)機能対応のテレビを接続する	21
eARC および ARC 機能非対応/光デジタル端子付きのテレビを接続する	22
eARC および ARC 機能非対応/アナログ端子付きのテレビを接続する	23
再生機器を接続する	24
HDMI 機器を接続する	24
電源コードを接続する	25

再生のしかた

テレビや映画、音楽を楽しむ	26
音量を調節する	27
サブウーハーの音量を調節する	27
一時的に音を消す	27
Bluetooth 機器の音楽を聴く	28
はじめて Bluetooth 機器とペアリングする	28
2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする	29
ペアリングされた Bluetooth 機器の音楽を聴く	29

設定のしかた

設定のしかた	30
サウンドモードを選ぶ	30
二重音声放送を切り替える	31
自動的にスタンバイ状態にする(オートスタンバイ機能)	31
スタンバイ時の消費電力を削減する(ディープスタンバイ機能)	32
HDMI コントロールによるスタンバイ連動機能のオン/オフを切り替える	33
再生機器の再生に合わせて自動的に電源をオンにする(オートオンコントロール機能)	33
テレビのリモコンを使用して本機を操作する	35



困ったときは

故障かな？と思ったら	37
電源が入らない / 電源が切れる	38
リモコンで操作ができない	39
リモコンコマンドを学習できない	39
音がまったく出ない	40
Bluetooth 再生ができない	41
HDMI コントロール機能がはたらかない	42
テレビのスピーカーから音声が聞こえる	42
お買い上げ時の設定に戻す	43
保証と修理について	44

付録

HDMI について	46
登録商標について	47
主な仕様	48
サウンドバー	48
サブウーハー	51
使用上のご注意	52



ご購入いただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

マニュアルについて

本機には次のマニュアルがあります。

- 安全にお使いいただくために（付属）/電池使用上のご注意（付属）：本機を正しく安全にお使いいただくためにご注意ください。事柄を記載しています。ご使用前に必ずお読みください。
- かんたんスタートガイド（付属）：本機の基本的な使いかたを記載しています。初めて本機をお使いいただく際にお読みください。
- 取扱説明書（本書）：本機の詳細な使いかたを記載しています。困ったときの対処方法も記載しています。

本書の記載について

- 本書では、DHT-S517(サウンドバー+サブウーハー)のことを本機と記載しています。
- 本書では、サウンドバーとリモコンのどちらでも操作できる場合は、リモコンの操作を中心に記載しています。
- 本書では、次の記号が使われています。

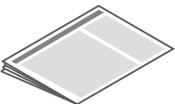
 ご注意	使用上の注意点や、機能上の制約などを記載しています。
	知っておくと便利な補足事項などを記載しています。

- 記載内容は予告なく更新される場合があります。



付属品

ご使用になる前にご確認ください。

 <p>かんたんスタートガイド (保証書を含む)</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>電池使用上のご注意</p>	 <p>壁掛け用テンプレート</p>	 <p>電源コード(2本) 【本機専用】</p>
 <p>HDMIケーブル(4K)</p>	 <p>光デジタルケーブル</p>	 <p>壁掛け用スペーサー(2個)</p>	 <p>リモコン (RC-1245 / 電池内蔵)</p>	



リモコンを使用する前に

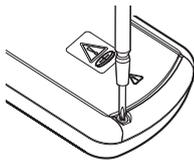
リモコンにはあらかじめリチウム電池が内蔵されています。
絶縁シートを引き抜いてご使用ください。



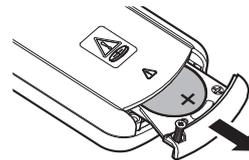
リモコンの電池ケース取り付け構造には2つの種類があります。

■ 電池交換のしかた (ネジ固定タイプ)

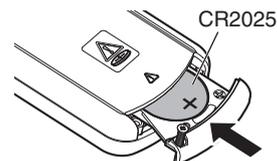
1. 精密プラスドライバー (市販) を使い、リモコン裏面の電池ケースのネジをゆるめる。



2. 電池ケースを引き抜く。



3. 古い電池を取り外し、新しいコイン型リチウム電池 (CR2025) を+の刻印を上に向け、電池ケースに入れる。
4. 電池ケースを元どおりにして、ネジを締める。



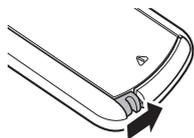
ご注意

- 万一、リチウム電池の液漏れがおこったときは、ただちに電池を処分してください。この際、液が皮膚や衣服に付着すると火傷する恐れがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。誤って付着してしまった場合は、ただちに水道水で洗浄し医師の診断を受けてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

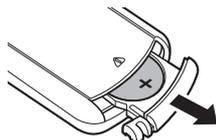


■ 電池交換のしかた (ツメ固定タイプ)

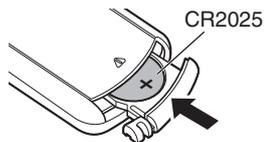
1. リモコン裏面の電池ケースのツメ部分を軽く右に押す。



2. ツメ部分を軽く右に押したまま、電池ケースを引き抜く。



3. 古い電池を取り外し、新しいコイン型リチウム電池 (CR2025) を+の刻印を上に向け、電池ケースに入れる。
4. 電池ケースを元どおりにする。



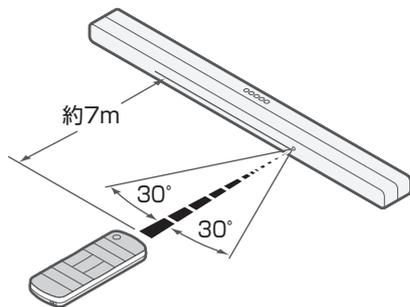
ご注意

- 万一、リチウム電池の液漏れがおこったときは、ただちに電池を処分してください。この際、液が皮膚や衣服に付着すると火傷する恐れがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。誤って付着してしまった場合は、ただちに水道水で洗浄し医師の診断を受けてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。



リモコンの使いかた

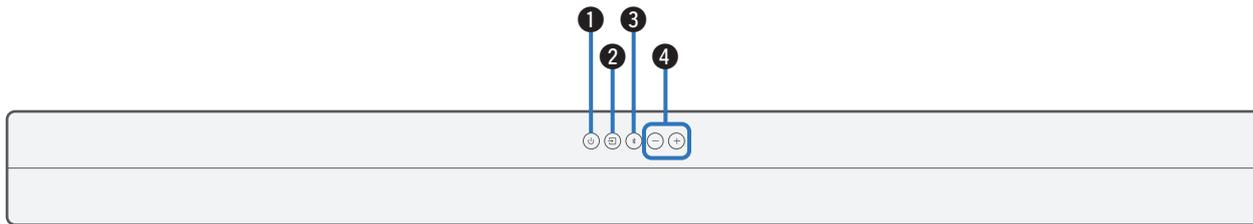
リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



各部の名前

サウンドバー

■ トップパネル



① 電源ボタン(⏻)

サウンドバーの電源がオン/オフ(スタンバイ)します。(☞26ページ)

サウンドバーの電源に連動し、サブウーハーの電源がオン/オフ(スタンバイ)します。

② 入力ソースボタン(📶)

入力ソースを選択します。(☞26ページ)

ボタンを押すたびに入力ソースが切り替わります。

③ Bluetooth ボタン(📶)

- 入力ソースを“Bluetooth”に切り替えます。(☞28ページ)

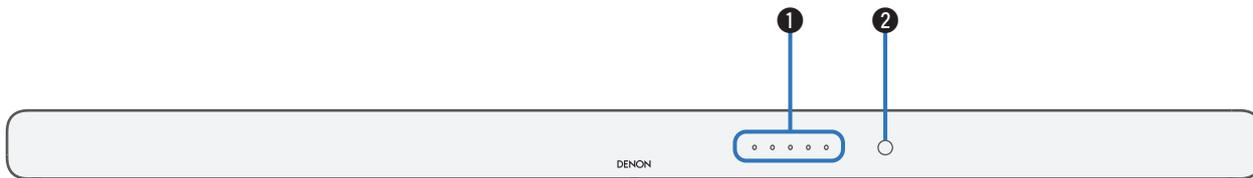
- Bluetooth 機器とペアリングする際に使用します。(☞28ページ)

④ 音量ボタン(+, -)

音量を調節します。(☞27ページ)



■ フロントパネル



① ステータス表示 LED

電源や入力ソース、音声フォーマット、サウンドモードなどのステータスを表示します。(P.11 ページ)

② リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(P.8 ページ)



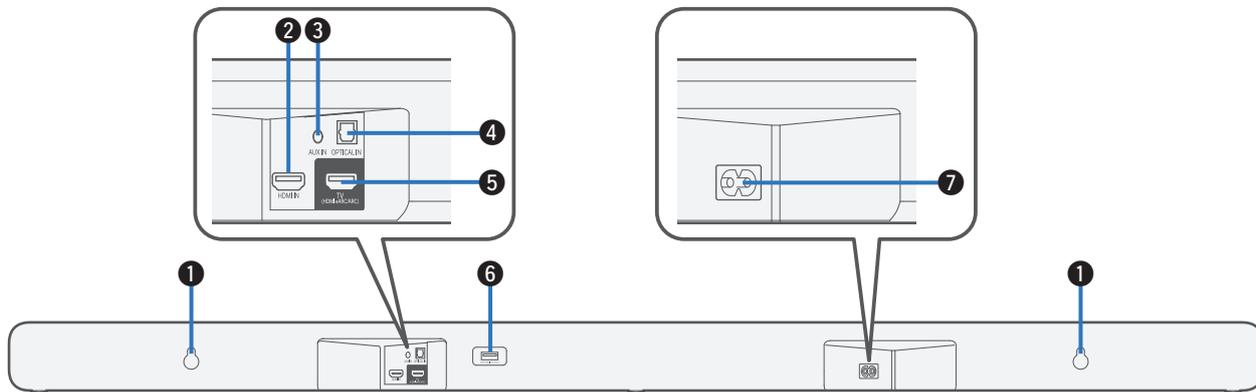
■ ステータスLED



電源	オフ (スタンバイ)	○ ○ ○ ○ ○	サウンドモード [例]入カソース： TV(HDMI eARC/ARC)	ムービーモード	○ ○ ○ ○ ○	1回点滅
	オン	○ ○ ○ ○ ○		ミュージックモード	○ ○ ○ ○ ○	2回点滅
入カソース	TV (HDMI eARC/ARC)	○ ○ ○ ○ ○		ナイトモード	○ ○ ○ ○ ○	3回点滅
	HDMI	○ ○ ○ ○ ○		ダイアログエンハンサーロー	○ ○ ○ ○ ○	1回点滅
	TV (OPTICAL)	○ ○ ○ ○ ○		ダイアログエンハンサーミディアム	○ ○ ○ ○ ○	2回点滅
	AUX	○ ○ ○ ○ ○		ダイアログエンハンサーハイ	○ ○ ○ ○ ○	3回点滅
音声フォーマット [例]入カソース： TV(HDMI eARC/ARC)	Bluetooth	○ ○ ○ ● ○		ピュアモード	○ ○ ○ ○ ○	1回点滅
	Dolby Atmos	● ○ ○ ○ ○				
	Dolby (Atmosを除く)	● ○ ○ ○ ○				
	PCM (または信号入力無し)	○ ○ ○ ○ ○				
	AAC	● ○ ○ ○ ○				
	非対応の音声フォーマット	● ○ ○ ○ ○				



■ リアパネル



① 壁掛け用穴

サウンドバーを壁に取り付ける際に使用します。(P.17 ページ)

② HDMI 入力端子(HDMI IN)

市販の HDMI ケーブルを使用して、HDMI 端子付きの機器を接続します。(P.24 ページ)

③ アナログ音声入力端子(AUX IN)

市販の 3.5mm ステレオオーディオケーブルを使用して、アナログ音声端子付きのテレビを接続します。(P.23 ページ)

④ 光デジタル入力端子(OPTICAL IN)

付属の光デジタルケーブルを使用して、光デジタル端子付きのテレビを接続します。(P.22 ページ)

⑤ HDMI 端子(TV(HDMI eARC/ARC))

付属の HDMI ケーブルを使用して、eARC または ARC 機能対応のテレビを接続します。(P.21 ページ)

⑥ USB 端子

サービス用の端子です。この端子は USB メモリーに保存された音楽の再生に対応していません。

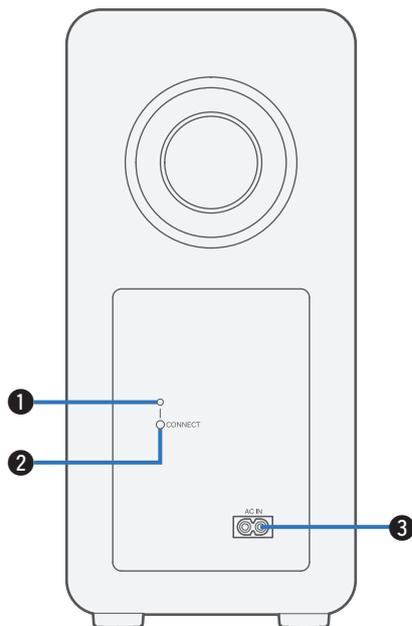
⑦ AC インレット

付属の電源コードを接続します。(P.25 ページ)



サブウーハー

■ リアパネル



① ステータス表示 LED

サブウーハーのステータスを表示します。

LED 表示	状態
○	電源スタンバイ時
 → 	サウンドバーとサブウーハーのワイヤレス接続時



- お買い上げ時、サウンドバーとサブウーハーはワイヤレス接続されています。サブウーハーから音声が出力されない場合は、サウンドバーとサブウーハーを再度ワイヤレス接続してください。(P.40 ページ)

② CONNECT ボタン

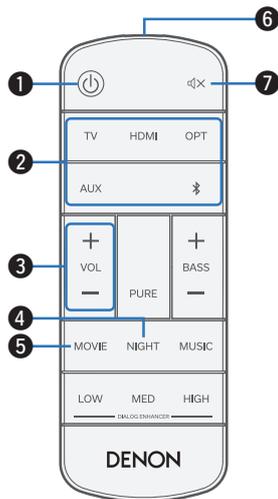
サウンドバーとサブウーハーをワイヤレス接続するときに使用します。(P.40 ページ)

③ AC インレット(AC IN)

付属の電源コードを接続します。(P.25 ページ)



リモコン

**① 電源ボタン(⏻)**

サウンドバーの電源がオン/オフ(スタンバイ)します。(☞26ページ)

サウンドバーの電源に連動し、サブウーハーの電源がオン/オフ(スタンバイ)します。

② 入力ソース選択ボタン(TV, HDMI, OPT, AUX, ※)

入力ソースを選択します。(☞26ページ)

③ 音量調節ボタン(VOL +, -)

音量を調節します。(☞27ページ)

④ ナイトモードボタン(NIGHT)

夜間、小音量で聞く際などにダイナミックレンジ(静かな音と大きな音のレベル差)を圧縮して聞きやすくする、ナイトモードに切り替えます。(☞30ページ)

⑤ ムービーモードボタン(MOVIE)

映画館のような臨場感あふれるサウンドがお楽しみいただける、ムービーモードに切り替えます。(☞30ページ)

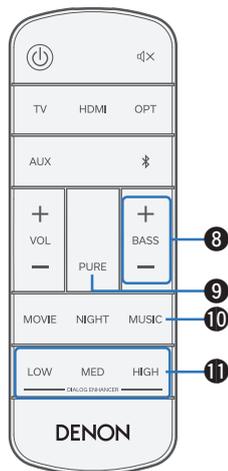
⑥ リモコン信号送信窓

リモコンの信号を送信します。(☞8ページ)

⑦ ミュートボタン(🔇)

消音します。もう一度押すと、消音を解除します。(☞27ページ)





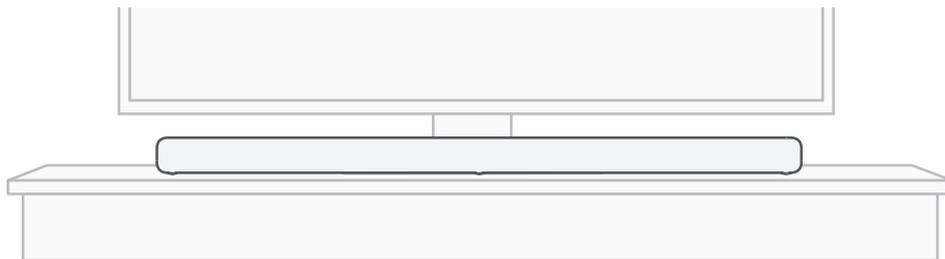
- ⑧ **サブウーハー音量調節ボタン(BASS +, -)**
サブウーハーの音量を調節します。(P.27 ページ)
- ⑨ **ピュアモードボタン(PURE)**
原音に忠実な高音質サウンドをお楽しみいただける、ピュアモードに切り替えます。(P.30 ページ)
- ⑩ **ミュージックモードボタン(MUSIC)**
音楽の再生に適した、ミュージックモードに切り替えます。(P.30 ページ)
- ⑪ **ダイアログエンハンサーボタン (DIALOG ENHANCER LOW、MED、HIGH)**
映画のせりふや音楽のボーカルの音量を調節して聴きやすくします。(P.30 ページ)
3段階で設定できます。お好みで設定してください。



設置する

サウンドバーをテレビの前に設置する

サウンドバーをテレビの前など平らな場所に設置します。



ご注意

- サウンドバーをテレビの前に設置する場合、サウンドバーがテレビのリモコン受光部などを遮らないようにご注意ください。



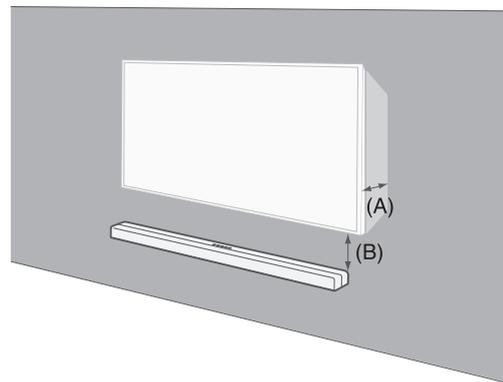
サウンドバーを壁掛けする

サウンドバーは背面の壁掛け用穴を使用して、壁掛けすることができます。壁に掛けてご使用になる場合は、平らで垂直な場所に設置してください。

壁への取り付けは、安全性確保のために専門施行業者へ依頼してください。

ご注意

- 安全にお使いいただくため、サウンドバーの上に物を乗せたり、サウンドバーに物をぶら下げたりしないでください。
- モルタルや装飾用合板など、壊れやすい材質の壁にサウンドバーを設置しないでください。ネジが抜けてサウンドバーが落下し、破損やけがの原因となることがあります。
- 付属の HDMI ケーブルは、フェライトコア付きです。サウンドバーを壁掛けする場合は、サウンドバーと壁の間にフェライトコアを挟まないようにしてください。
- 接続ケーブルを足や手に引っ掛けて本機を落下させることがないように必ず壁などに固定してください。取り付け後は必ず安全性を確認してください。
- また、定期的な落下の可能性がないか安全点検をおこなってください。
- 取り付け場所や取り付け方法の不備による損害・事故において、当社は一切その責任を負いません。



(A)壁掛けテレビの奥行き	(B)テレビ底面からサウンドバー天面までの間隔
64mm 未満	50mm を超える
64～102mm	102mm を超える
102mm を超える	191mm を超える

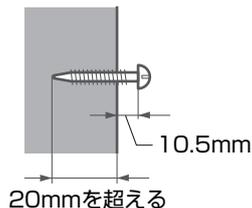




- 壁に掛けてご使用になる場合は、付属の壁掛け用テンプレートを 사용하여ください。

壁掛け用テンプレートの使いかた

- ① サウンドバーを取り付ける位置にテンプレートを貼り付ける。
サウンドバーの天面には Atmos 用スピーカーを備えており、天井に向けてサラウンド音声を出力します。出力された音声がテレビに遮られないよう、前ページの表を参考にしてテレビとサウンドバーの間隔を空けてください。(P.17 ページ)
- ② テンプレートに従って壁掛け用ネジを取り付ける。
サウンドバーの質量を支えるのに十分な強度の壁、または壁の補強材にタッピングネジ(市販/直径 5~6mm)を取り付けます。

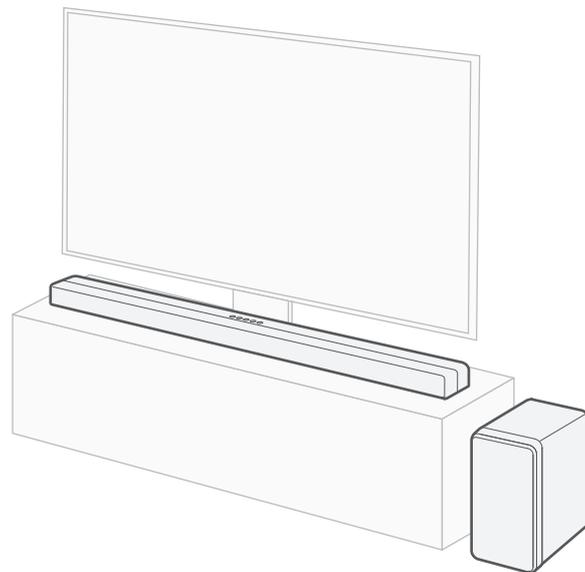


- ③ 壁からテンプレートを取り外す。
- ④ 付属の壁掛け用スペーサーをサウンドバーの背面に取り付ける。
壁掛け用スペーサーを使うと、サウンドバーと壁の間にコードを通すためのスペースができます。
- ⑤ サウンドバーをネジに掛ける。



サブウーハーを設置する

サブウーハーをサウンドバー近くの平らな場所に設置します。



テレビを接続する

接続方法は、テレビに装備されている端子や機能により異なります。



- HDMI ケーブルを使用して本機とテレビを接続する際は、テレビの HDMI コントロール機能を有効にしてください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。)
- 本機をご使用になる際は、テレビのスピーカー設定をオフにするか音量を最小にしてください。
- HDMI ケーブルを使用して接続することをおすすめしますが、HDMI ケーブルを使用せずに接続することもできます。

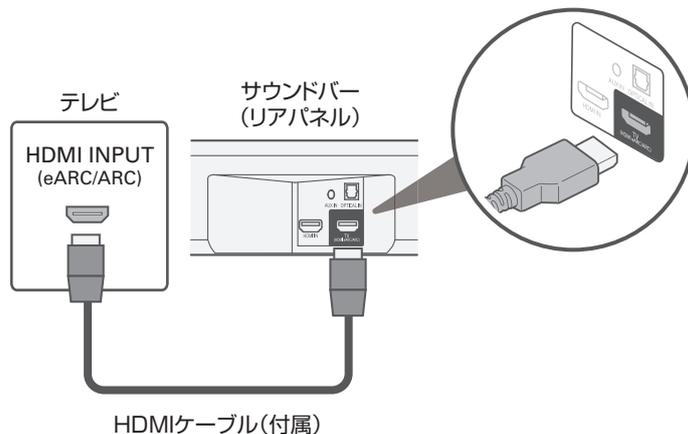
ご注意

- 接続するときは、各機器の電源を切ってください。
- すべての機器の接続が完了するまで、各機器の電源プラグをコンセントに差し込まないでください。



eARC(Enhanced Audio Return Channel)またはARC(Audio Return Channel)機能対応のテレビを接続する

付属の HDMI ケーブルを使用して、eARC または ARC 機能対応のテレビを本機に接続します。

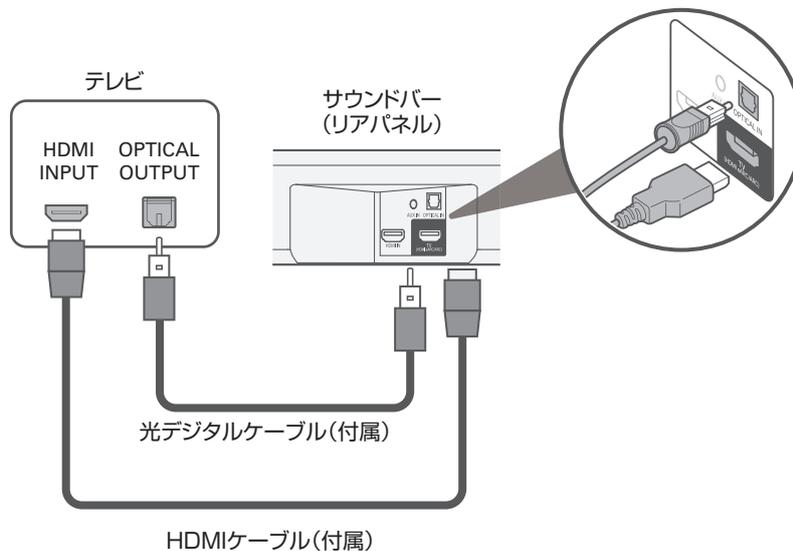


- テレビも eARC または ARC 機能に対応している必要があります。



eARC および ARC 機能非対応/光デジタル端子付きのテレビを接続する

付属の HDMI ケーブルと光デジタルケーブルを使用して、本機とテレビを接続します。

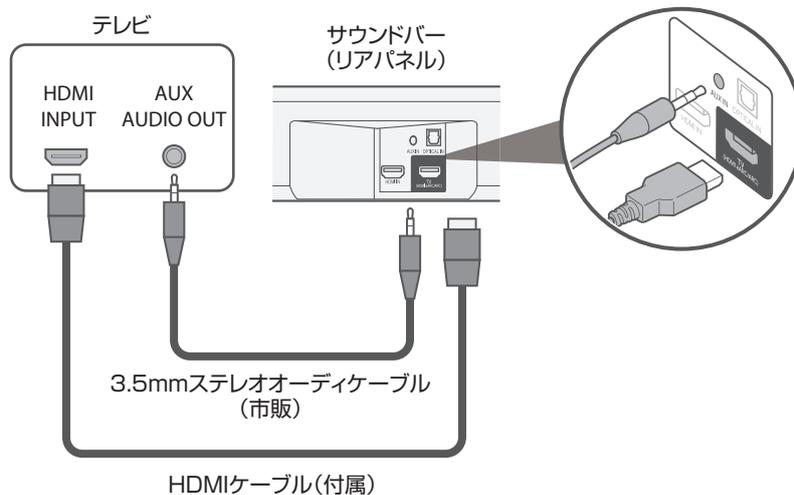


- 光デジタルケーブルを差し込む際は、本機の OPTICAL IN 端子とケーブルのプラグの向きを合わせてください。



eARC および ARC 機能非対応/アナログ端子付きのテレビを接続する

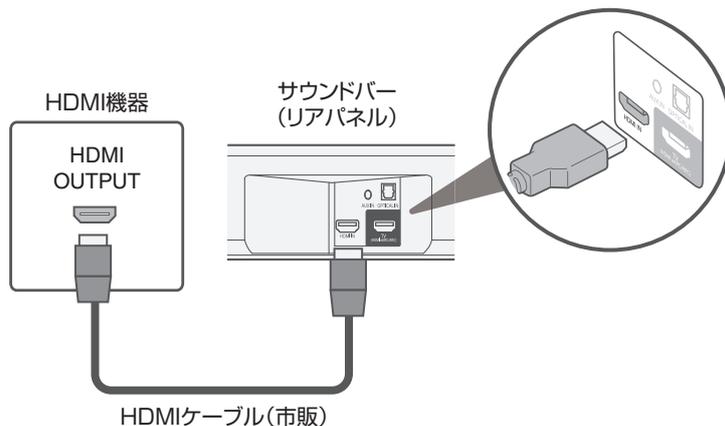
付属の HDMI ケーブルと市販の 3.5mm ステレオオーディオケーブルを使用して、本機とテレビを接続します。



再生機器を接続する

HDMI 機器を接続する

市販の HDMI ケーブルを使用して、本機に HDMI 機器(ブルーレイディスクプレーヤーやゲーム機など)を接続します。

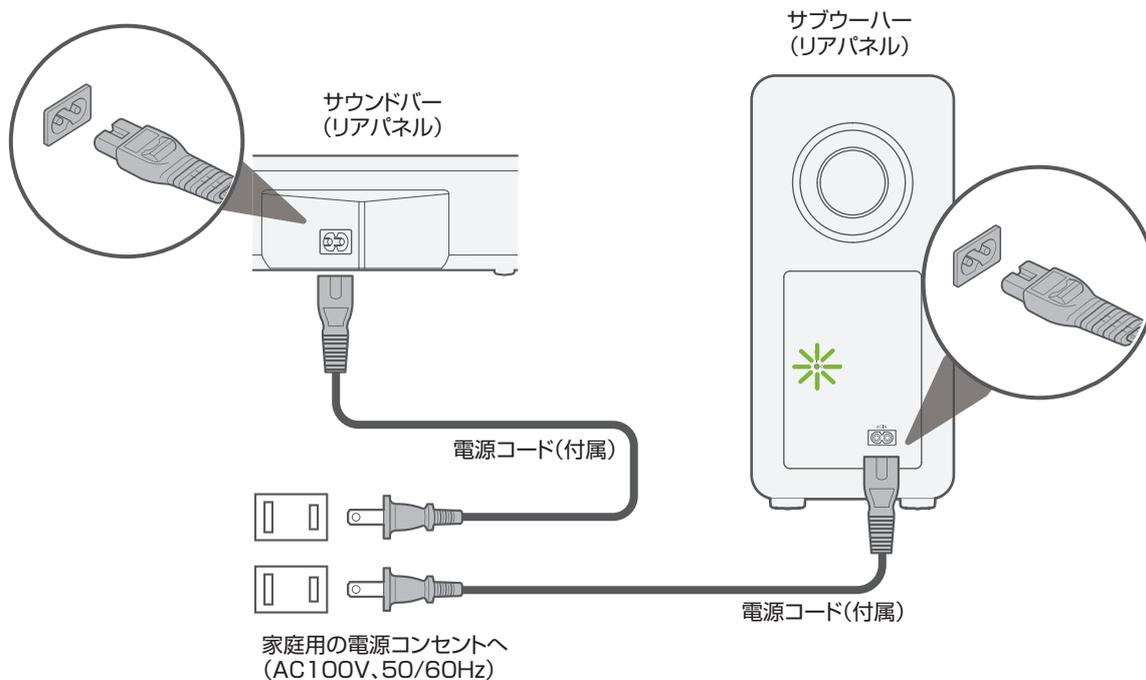


- 本機を 4K 機能対応の機器と接続する場合は、HDMI ロゴのある“イーサネット対応ハイスピード HDMI ケーブル”を使用してください。

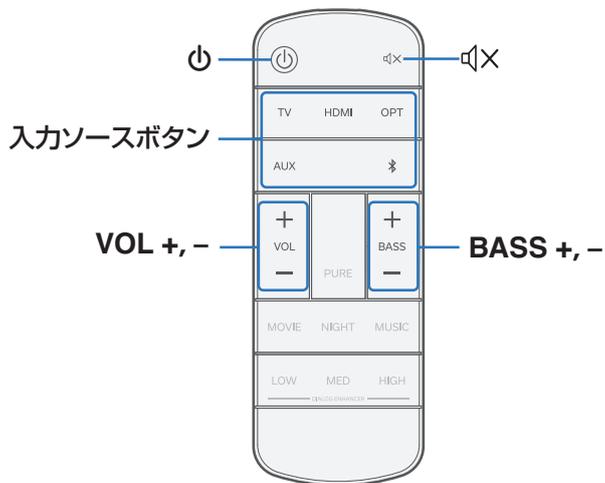


電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



テレビや映画、音楽を楽しむ



- 1 テレビや接続した機器の電源を入れる。
- 2 静音を押して、本機の電源を入れる。
- 3 入力ソースボタンを押す。

TV:	入力ソースを TV (HDMI eARC/ARC) に切り替えます。
HDMI:	入力ソースを HDMI IN に切り替えます。
OPT:	入力ソースを OPTICAL IN に切り替えます。
AUX:	入力ソースを AUX IN に切り替えます。
※:	入力ソースを Bluetooth に切り替えます。

- 4 本機に接続した機器を再生する。
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。



- HDMI コントロール機能対応のテレビと本機を HDMI 接続し、テレビの HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、機器間で相互にコントロールできます。(P.46 ページ)



音量を調節する

- 1 **VOL +**または**VOL -**を押して、音量を調節する。
ボタンを押すと、ステータス LED が現在の音量に合わせて点灯します。
 - ボタンを押すたびにステータス LED が点滅し、音量に合わせて点滅する LED の数が増減します。
 - 音量が最大または最小に達すると、ステータス LED が 3 回点滅します。



- 本機の電源をオンにすると、前回スタンバイにしたときの音量設定で起動します。しかし、前回大きな音量で使用されていた場合は、一定のレベルまで下げた音量設定で起動します。

サブウーハーの音量を調節する

- 1 **BASS +**または**BASS -**を押して、サブウーハーの音量を調節する。
ボタンを押すと、ステータス LED が現在のサブウーハーの音量に合わせて点灯します。
 - ボタンを押すたびにステータス LED が点滅し、サブウーハーの音量に合わせて点滅する LED の数が増減します。
 - サブウーハーの音量が最大または最小に達すると、ステータス LED が 3 回点滅します。

一時的に音を消す

- 1 **⏏**を押す。
すべてのステータス LED が点滅します。

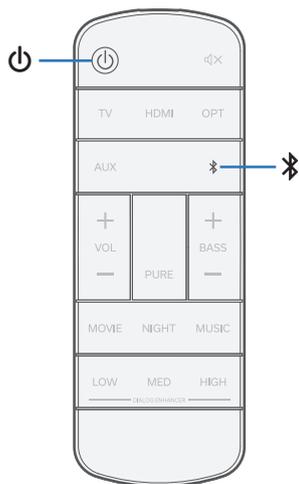


- 解除するときは、もう一度 **⏏** を押してください。



Bluetooth 機器の音楽を聴く

スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなどの Bluetooth 機器と本機をペアリングして接続すると、Bluetooth 機器の音楽ファイルをワイヤレスでお楽しみいただけます。



はじめて Bluetooth 機器とペアリングする

Bluetooth 機器と本機をペアリングします。
一度ペアリングすれば、再度ペアリングする必要はありません。

- 1 ⏻ を押して、本機の電源を入れる。
- 2 ⌘ を押して、入力ソースを“Bluetooth”に切り替える。
はじめてご使用になる場合は、自動的にペアリングモードになります。
ペアリングモード中は、ステータス LED が青色で点滅します。
- 3 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。
- 4 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧の中から、“Denon DHT-S517”を選ぶ。
ステータス LED が青色に点灯し、本機と Bluetooth 機器がペアリングされます。



2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする

- 1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 2 電源ボタンを押して、入力ソースを“Bluetooth”に切り替える。
- 3 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。
- 4 電源ボタンを 3 秒以上長押しする。
本機がペアリングモードになり、ステータス LED が青色で点滅をくり返します。
- 5 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧の中から、“Denon DHT-S517”を選ぶ。
ステータス LED が青色に点灯し、本機と Bluetooth 機器がペアリングされます。

ペアリングされた Bluetooth 機器の音楽を聴く

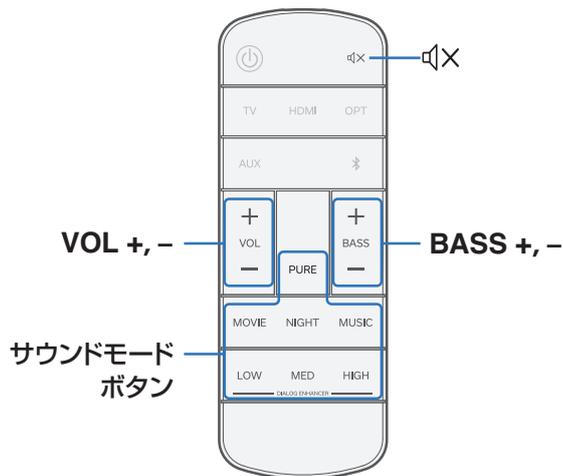
- 1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 2 電源ボタンを押して、入力ソースを“Bluetooth”に切り替える。
- 3 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。
ステータス LED が青色に点灯し、前回接続していた Bluetooth 機器に接続します。接続が途切れた場合は、再度接続してください。
- 4 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。

 - 本機がスタンバイ状態のときに、ペアリング済みの Bluetooth 機器から接続操作をおこなうと、自動的に本機の電源はオンになります。



設定のしかた

以降の操作および設定は、必要に応じておこなってください。



サウンドモードを選ぶ

1 サウンドモードボタンを押して、サウンドモードを選ぶ。

ボタンを押すと、ステータス LED の右端の LED が点滅してサウンドモードが切り替わります。(P.11 ページ)

MOVIE:	映画館のような臨場感あふれるサウンドがお楽しみいただけます。
NIGHT:	小音量時にダイナミックレンジ(静かな音と大きな音のレベル差)を圧縮して聞きやすくします。
MUSIC:	広く包み込むような音場のサウンドをお楽しみいただけます。音楽ソースの再生に適しています。
DIALOG ENHANCER LOW / MED / HIGH:	映画のせりふや音楽のボーカルの音量を調節して聞きやすくします。3段階で設定できます。お好みで設定してください。
PURE:	原音に忠実な高音質サウンドをお楽しみいただけます。



二重音声放送を切り替える

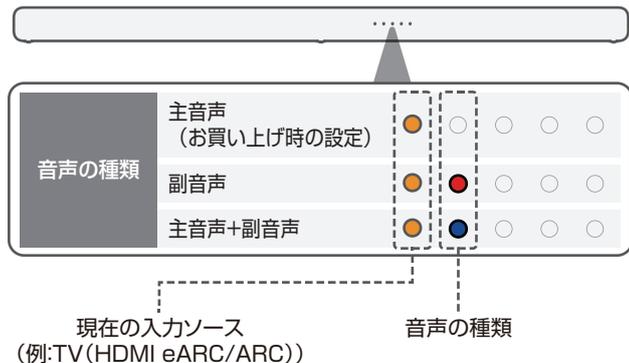
二重音声信号を含む放送の音声を切り替えます。

1 ㊦を5秒以上押し続ける。

ステータス LED が現在の入力ソースを表示します。(P.11 ページ)

そして、その右側の LED が音声の種類に応じて次のように点灯します。

- 消灯: 主音声
- 赤色: 副音声
- 青色: 主音声+副音声



自動的にスタンバイ状態にする(オートスタンバイ機能)

オートスタンバイ機能のオン/オフを切り替えます。

オートスタンバイ機能をオンにすると、約 20 分以上操作せず音声出力が無い場合、本機の電源が自動的にスタンバイ状態になります。

1 NIGHT を5秒以上長押しする。

- オートスタンバイ機能のオン/オフが切り替わり、ステータス LED が次のとおり点滅します。



スタンバイ時の消費電力を削減する (ディープスタンバイ機能)

本機をディープスタンバイモードにすると、通常のスタンバイ時よりも待機電力が少なくなります。次の手順で本機をディープスタンバイモードにしてください。

1 DIALOG ENHANCER HIGH を 5 秒以上長押しする。

- ディープスタンバイ機能のオン/オフが切り替わり、ステータス LED が次のとおり点滅します。



- ディープスタンバイ機能がオンの状態で電源ボタンを押すと、すべてのステータス LED が白色で 3 回点滅し、本機はディープスタンバイモードになります。
- ディープスタンバイ機能がオフの状態で電源ボタンを押すと、すべてのステータス LED が緑色で 3 回点滅し、本機は通常のスタンバイモードになります。

ご注意

- 本機がディープスタンバイモードの場合、Bluetooth 接続をおこなっても本機の電源を入れることはできません。
- ディープスタンバイモードの場合、オプティカル入力および AUX 入力のオートオンコントロール機能によって本機の電源を入れることはできません。(P.33 ページ)

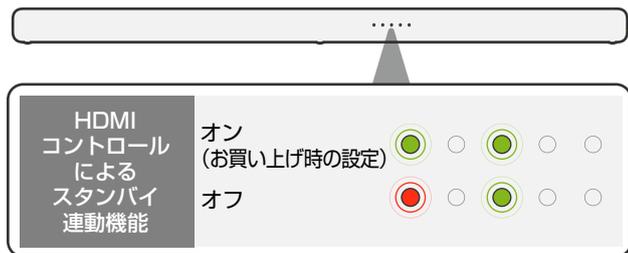


HDMI コントロールによるスタンバイ連動機能のオン/オフを切り替える

お買い上げ時の設定では HDMI コントロール機能により、テレビの電源スタンバイ操作に連動して本機の電源が自動的にスタンバイになります。本機に再生機器を接続して音楽再生している場合など、テレビのスタンバイ操作に本機を連動させたくない場合は、HDMI コントロールによるスタンバイ連動機能をオフにしてください。

1 MOVIE を 5 秒以上長押しする。

- HDMI コントロールによるスタンバイ連動機能のオン/オフが切り替わり、ステータス LED が次のとおり点滅します。



再生機器の再生に合わせて自動的に電源をオンにする(オートオンコントロール機能)

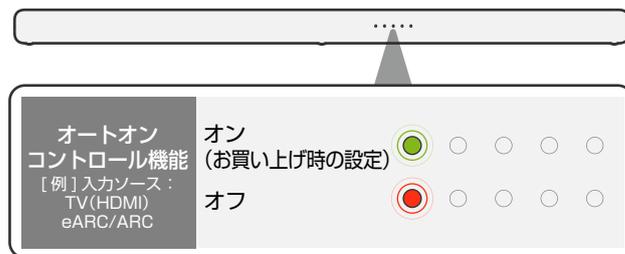
オートオンコントロール機能がオンの場合、本機がスタンバイ時に再生機器を再生すると、本機の電源が自動的にオンになり再生を開始します。また、本機の電源がオンのときでも再生機器の再生に合わせて、入力ソースが自動的に切り替わります。オートオンコントロール機能は入力ソースごとにオン/オフを設定できます。

1 設定したい入力ソースに切り替える。

2 設定したい入力ソースのボタンを 5 秒以上長押しする。

入力ソース	ボタン
TV(HDMI eARC/ARC)	TV
OPTICAL IN	OPT
AUX IN	AUX

現在の入力ソースのステータス LED 表示が 3 回点滅します。





- TV(HDMI eARC/ARC)入力のオートオンコントロール機能をオフにすると、HDMI IN 入力のオートオンコントロール機能もオフになります。
- TV(HDMI eARC/ARC)入力のオートオンコントロール機能がオフでも、本機の電源オン時に TV や HDMI 再生機器の再生をおこなうと、入力ソースが TV (HDMI eARC/ARC)や HDMI IN に自動的に切り替わります。
- OPTICAL 入力や AUX 入力のオートオンコントロール機能がオンになっていても、HDMI(eARC/ARC)再生時には OPTICAL 入力や AUX 入力のオートオンコントロール機能ははたらきません。
- ディープスタンバイモードの場合、オプティカル入力および AUX 入力のオートオンコントロール機能によって本機の電源を入れることはできません。(P.32 ページ)



テレビのリモコンを使用して本機を操作する

テレビのリモコンを使用して本機を操作する方法は、次の3とおりあります。

• HDMI コントロール機能

本機と HDMI コントロール機能対応のテレビを HDMI ケーブルで接続し、テレビの HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、テレビのリモコンで本機の基本操作(入力ソース切り替え、電源オン/オフ、音量調節)をおこなえます。

HDMI コントロール機能については、「HDMI コントロール機能」をご覧ください。(P.46 ページ)

• リモコンリセット機能

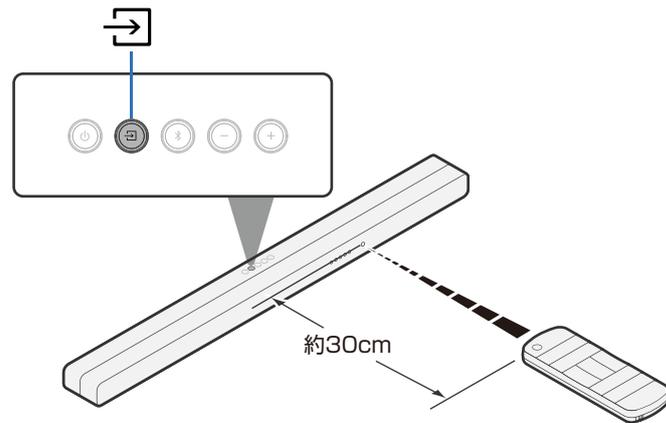
本機は主要なメーカーのテレビのリモコンの音量調節ボタンを使って、本機の音量調節ができるようあらかじめ設定されています。お使いのテレビが HDMI コントロール機能に対応していなかったり、HDMI 端子の無いテレビと接続したりする場合に便利です。

• リモコン学習機能

お使いのテレビが HDMI コントロール機能に対応していない場合は、本機のリモコン学習機能を使用してください。テレビのリモコンで本機の操作をおこなうことができます。〔リモコン学習機能を使用する〕(P.35 ページ)

■ リモコン学習機能を使用する

- 1 本体の  を 3 秒以上長押しする。
ステータス LED の内、1 つの LED が白色で左右に往復移動するように点灯し、リモコン学習モードを開始します。
- 2 学習させたい本機のリモコンのボタン(例:VOL +)を、本体のリモコン受光部に向けて 1 回押す。
すべてのステータス LED が白色で点滅します。



- 3 学習させたいテレビのリモコンボタン(例:音量アップ)を、本機のリモコン受光部に向けて1回押す。**
学習に成功すると、右端のステータスLEDが緑色で3回点滅します。
学習に失敗した場合は、右端のステータスLEDが赤色で3回点滅します。手順2、3を再度おこなってください。



- ステータス表示LEDが白色で点滅したときは、もう一度テレビのリモコンボタン(例:音量アップ)を押してください。

- 4 続けて学習させたい場合は、手順2、3をくり返す。**

- 5 本体の  を3秒以上長押しする。**

右端のステータスLEDが白色で3回点滅し、リモコン学習モードを終了します。

- 6 テレビのリモコンで本機の操作(例:音量を上げる)ができることを確認する。**



- 学習させたデータを消去する場合は、右端のステータスLEDが紫色で5回点滅するまで本体の  を10秒間押し続けてください。
- ディープスタンバイモード時は、リモコン学習機能で学習したテレビのリモコン操作を受け付けません。
- リモコン学習モードのときは他の操作はできません。
- テレビのリモコンによっては学習できない場合があります。



故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 他の機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もしお買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。



電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P.25 ページ)
- テレビのリモコンの電源オン操作で本機の電源が入らない場合は、本機のリモコンの **⏻** ボタンを押して、本機の電源を入れてください。(P.46 ページ)
- 本機と HDMI コントロール機能に対応したテレビを HDMI 接続する場合は、テレビの HDMI コントロール機能を有効にしてください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。)
- ディープスタンバイモードの場合、Bluetooth 接続で電源が入りません。**⏻** を押して、電源を入れてください。(P.32 ページ)
- オートオンコントロール機能をオフに設定すると、テレビや再生機器で再生を開始しても、本機の電源が自動的にオンになりません。(P.33 ページ)
- OPTICAL 入力および AUX 入力のオートオンコントロール機能で本機の電源が入らない場合は、本機がディープスタンバイモードになっています。**⏻** を押して、電源を入れてください。(P.33 ページ)

電源が自動的に切れる。

- 約 20 分以上操作がなく音声入力が無い場合、本機の電源が自動的にスタンバイ状態になります。本機の電源を入れ直してください。電源が自動的に切れないようにするには、オートスタンバイ機能をオフに設定してください。(P.31 ページ)

テレビの電源をオフにしても、本機の電源が自動的にオフにならない。

- HDMI コントロールによるスタンバイ連動機能をオフに設定すると、HDMI 接続されているテレビの電源がオフになっても、本機はスタンバイ状態になりません。(P.33 ページ)
- 入力ソースが Bluetooth の場合、HDMI 接続しているテレビの電源を切っても、本機はスタンバイ状態になりません。

電源がオフになり、左端のステータス LED が赤色で点滅している。

- 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。電源コードを抜いて 1 時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから電源を入れ直してください。
- 電源を入れ直してから音量を下げてください。



リモコンで操作ができない

リモコンで操作できない。

- 電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。(P.6 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P.8 ページ)
- 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- コイン型リチウム電池 (CR2025) の向きが正しくありません。電池の+の刻印が上を向いていることを確認してください。(P.6 ページ)
- 本機のリモコン受光部に強い光 (直射日光、インバーター式蛍光灯の光など) があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。

リモコンコマンドを学習できない

リモコンコマンドを学習できない。

- 本機はほとんどすべての IR (赤外線) リモコンコマンドを学習することができますが、学習することができない珍しいコマンドがいくつか存在します。



音がまったく出ない

音がまったく出ない。

- すべての機器の接続を確認してください。(P.20 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。(P.26 ページ)
- 音量を適切な大きさに調節してください。(P.27 ページ)
- 消音している場合は、消音を解除してください。(P.27 ページ)
- ステータス LED が赤色で点灯する場合は、本機が対応していない音声信号が入力されています。(P.11 ページ)
この場合は、音声出力機器側の音声フォーマットを“PCM”に設定してください。

サブウーハーから音が出ない。

- サウンドバーとサブウーハーの間に障害物がある場合は、それを取り除いた後、サブウーハーをサウンドバーの近くに設置してください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- サブウーハーのステータス表示 LED が緑色に点灯しているか確認してください。消灯している場合はサウンドバーとサブウーハーがワイヤレス接続されていない可能性があります。次の手順に従って再接続してください。

①  を押して、本機の電源を入れる。

② サブウーハーの CONNECT ボタンを 3 秒以上長押しする。

サブウーハーのステータス LED が緑色で点滅し、ペアリングモードになります。

③ サウンドバーのステータス LED が赤色で点滅するまで、サウンドバーの  と + ボタンを 5 秒以上長押しする。

サウンドバーがペアリングモードになり、サブウーハーは自動的にサウンドバーとワイヤレスで接続されます。接続できない場合は、手順 ①～③ を再度おこなってください。



Bluetooth再生ができない

Bluetooth 機器とペアリングできない。

- Bluetooth 機器の Bluetooth 設定が有効になっていない可能性があります。Bluetooth 機器の取扱説明書を参照し、Bluetooth 機能を有効にしてください。
- 本機が他の Bluetooth 機器とペアリングしている可能性があります。Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧から本機を選択してください。
- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- ご使用の Bluetooth 機器の電源を入れ直してからお試してください。
- 同時に接続できる Bluetooth 機器は 1 台です。
- Bluetooth 機器とのペアリングが正しく機能していません。Bluetooth 機器の電源を入れ直してペアリング情報を消去してから、再度本機とペアリングしてください。

音が途切れる。

- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth 機器の間にある障害物を取り除いてください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- Bluetooth 機器と再度ペアリングしてください。(P.28 ページ)



HDMI コントロール機能がはたらかない

HDMI コントロール機能がはたらかない。

- HDMI コントロール機能に対応していない機器は操作できません。また、接続する機器や設定によっては、HDMI コントロール機能が動作しない場合があります。その場合は、外部機器を直接操作してください。
- 本機に接続しているすべての機器の HDMI コントロール機能の設定が有効になっているか確認してください。

テレビのスピーカーから音声が聞こえる

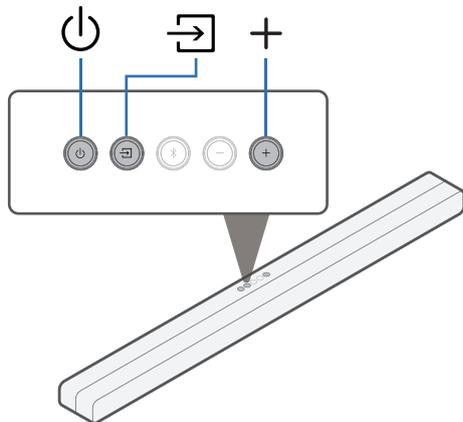
テレビのスピーカーから音声が聞こえる。

- テレビのスピーカーを無効にしてください。(多くはセットアップメニューオプションで設定しますが、一部のテレビではリアパネルのスイッチで設定します)



お買い上げ時の設定に戻す

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。
各種設定がお買い上げ時の設定に戻ります。再度設定をおこなってください。



- 1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 2 本機の電源が入っているときに、本体の電源ボタン、ホームボタンと+を5秒以上押し続ける。
ステータス LED が赤色で3回点滅します。
- 3 LED 消灯後 10 秒以上経ってから電源ボタンを押す。
サウンドバーが再起動した後、すべての設定がお買い上げ時の設定に戻ります。



保証と修理について

■ 保証書について

- 保証書は、付属の「かんたんスタートガイド」に収録していません。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代・・・修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料・・・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。



■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。



HDMI について

本機は次の HDMI 機能に対応しています。

- **ARC(Audio Return Channel)機能**

ARC 機能対応のテレビと本機を HDMI 接続するだけで、テレビの映像や音声を楽しめます。

- **eARC(Enhanced Audio Return Channel)機能**

eARC 機能は、従来の ARC 機能で対応していたオーディオフォーマットに加え、ARC 機能で対応していなかったマルチチャンネルリア PCM や Dolby TrueHD、Dolby Atmos の音声フォーマットも伝送できます。また、eARC 機能に対応しているテレビを接続することにより、テレビで再生するコンテンツの音声をより高品位なサラウンド再生でお楽しみいただけます。

- **HDMI コントロール機能**

HDMI コントロール機能対応のテレビと本機を HDMI 接続し、テレビの HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、機器間で相互にコントロールできます。

- **入力ソースの切り替え**

テレビの電源をオンにすると、自動的に本機の電源もオンになり、本機の入力ソースがテレビに切り替わります。

- **電源オフ連動**

テレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源もオフになります。

- **音量調節**

テレビのリモコンを使用して、本機の音量を調節できます。

- **音声出力先の切り替え**

本機の電源がオンになると、テレビの音声は本機から出力されます。本機の電源がオフになると、テレビの音声はテレビのスピーカーから出力されます。

ご注意

- 接続しているテレビによっては、動作しない機能があります。



登録商標について



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、D&M Holdings Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。

COMPATIBLE WITH

Dolby Atmos

Dolby Vision

ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Atmos 及びダブル D 記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。非公開機密著作物。著作権 © 2012-2021 年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。



HDMI, High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。



主な仕様

サウンドバー

■ 総合

動作温度:	5° C~35° C
電源:	AC100~240V、50/60Hz
消費電力:	40W
スタンバイ時の消費電力:	1.7W
ディープスタンバイモード時の消費電力:	0.4W
最大アナログ入力:	2Vrms
サンプリング周波数:	32kHz、44.1kHz、48kHz
音声フォーマット:	リニア PCM、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、Dolby Atmos、AAC



■ 無線 LAN 部

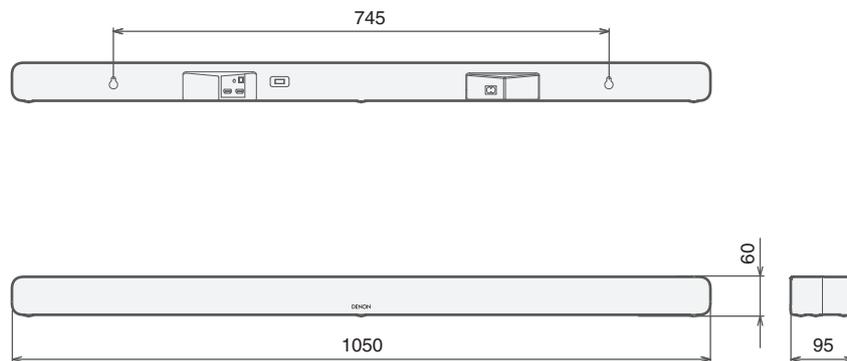
使用周波数帯域: 2.4GHz(ワイヤレスサブウーハー)

■ Bluetooth 部

通信システム: Bluetooth バージョン 5.0
送信出力: Power Class 2
最大通信範囲: 見通し距離 約 10m *
使用周波数帯域: 2.4GHz 帯域
変調方式: FHSS (Frequency-Hopping Spread Spectrum)
対応プロファイル: A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) 1.3
AVRCP(Audio Video Remote Control Profile) 1.6
対応コーデック: SBC
伝送範囲(A2DP): 20Hz~20,000Hz

* 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。



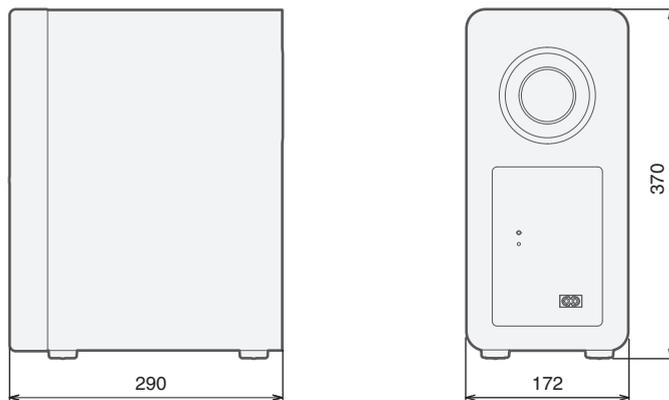
■ 寸法(単位:mm)**■ 質量 :2.5kg**

サブウーハー

■ 総合

動作温度:	5 ° C~35 ° C
電源:	AC100~240V、50/60Hz
消費電力:	40W
スタンバイ時の消費電力:	0.3W
ディープスタンバイモード時の消費電力:	0.3W

■ 寸法(単位:mm)



■ 質量 :4.3kg



使用上のご注意

■ 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

■ お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

■ 結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1 ~ 2 時間放置してから使用してください。

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。



DENON®

3520 10830 00ASB
©2021 Sound United. All Rights Reserved.